

令和5年度 第2回研修会のご報告

日本製鉄の北海道における海の森づくり～ブルーカーボン生態系を育む鉄の力～

開催日：令和6年2月16日(金) 会場：札幌エルプラザ 2F OA 研修室



写真-1 主催者代表の挨拶をする滝澤嘉史代表



写真-4 研修会の会場参加の状況



写真-2 講師紹介をする中田光治副代表

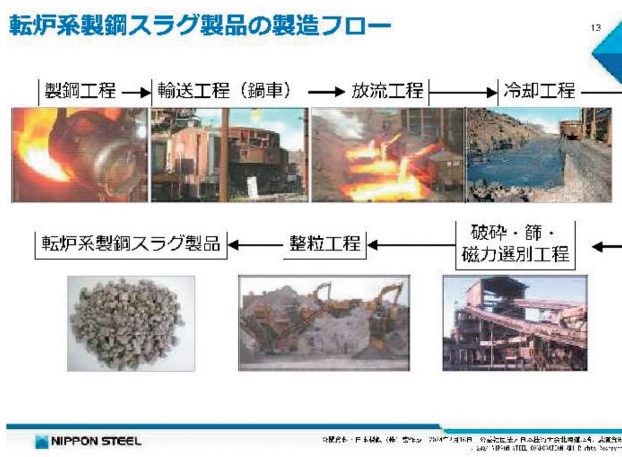


写真-5 転炉系製鋼スラグ製品の製造フロー



写真-3 講師を務められた宮架蓮講師(Web参加)

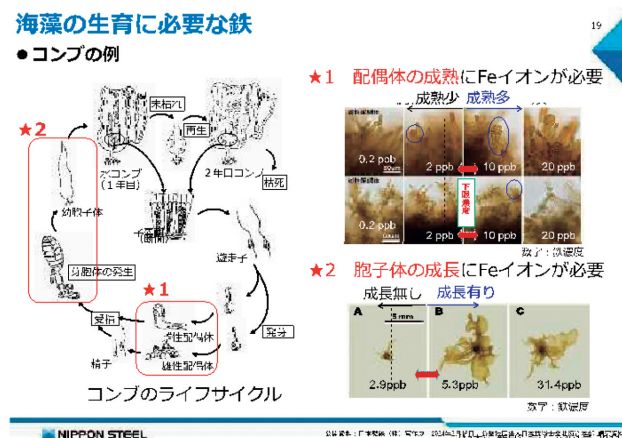


写真-6 海藻の生育に必要な鉄

転炉系製鋼スラグの特性を生かした 新たな環境修復資材を開発



写真-7 鉄鋼スラグの特性を生かした新たな
環境修復資材を開発

(3) ビバリー®ユニットの効果の実証 ～沿岸域での実証実験～

●北海道増毛町舎熊海岸での最初の沿岸域実証実験

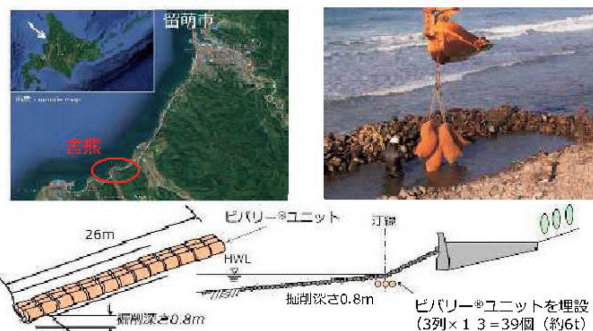


写真-8 ビバリーユニットの効果の実証
(増毛町舎熊海岸での沿岸域実証実験)

ビバリー®ユニット再生藻場の水産的価値の評価

●北海道増毛町別所海岸での大規模実証事業： 舎熊の6倍規模での施工

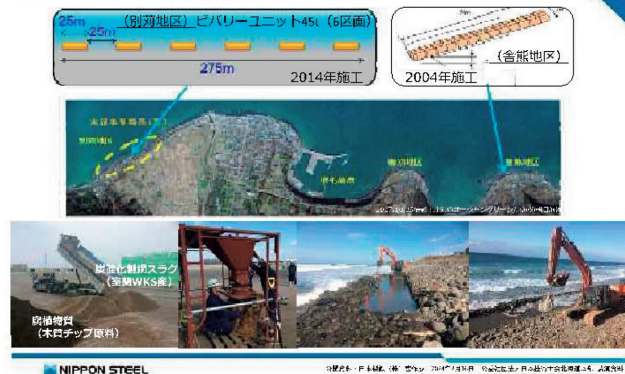


写真-9 ビバリーユニットによる藻場の再生
(北海道増毛町別所海岸での実証事業)

ビバリー®ユニット再生藻場の水産的価値の評価

●北海道増毛町別所海岸での大規模実証事業： 藻場と水産的価値の評価

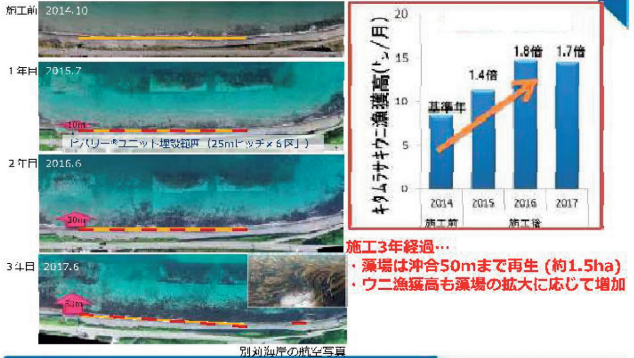


写真-10 ビバリーユニットによる藻場再生
(2014～2017年の経年変化、増毛町別所海岸)

ジャパンプールエコノミー技術研究組合

- ・国土交通大臣認可 (2020年7月)
- ・事業概要：(1) 沿岸域におけるブルーカーボン等の定量的評価
(2) 沿岸域におけるブルーカーボン等の技術開発
(3) 社会的コンセンサスの形成
(4) 新たな資金メカニズムの導入
- 沿岸域が有するCO₂吸収(海藻を含めたブルーカーボン生態系)や沿岸域における活動の低炭素化等による気候変動対策手法の開発
- 沿岸域の環境価値の「見える化」、「貨幣価値化」に基づく資金調達メカニズムの検討
- 例えば、
・地域の環境活動に関する資金獲得
・自社におけるSDGsの取り組みの数値化
・目の前の海岸や岸壁の海藻、海苔によるCO₂吸収量の算定
- ★BC以外の海洋を利用した緩和策(洋上風力発電等の推進、海運からの温室効果ガス排出削減など)についても、段階的に研究を進めていく予定

写真-11 JBE の事業概要
(JBE：ジャパンプールエコノミー技術研究組合)



写真-12 質疑応答で質問をする会場参加者